

2025（令和7）年3月31日

2024（令和6）年度関西保育福祉専門学校

第2回学校関係者評価委員会報告

本校の学校関係者評価委員会設置要綱に基づき設置した学校関係者評価委員会において、第2回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、概要をお知らせいたします。

1 開催期日 2025(令和7)年2月20日（木）15:00～17:00

2 開催場所 関西保育福祉専門学校 2F 校長室

3 出席者

■ 学校関係者評価委員

NO	委員名	所 属 等	出欠
1	高山 由香里委員	社会福祉法人 樫の木会 開明かしの木こども園 園長	出席
2	田淵勝彦 委員	社会福祉法人 みおつくし福祉会 救護施設 淀川寮 施設長	出席
3	丸山 和幸 委員	社会福祉法人 三田谷治療教育院 芦屋翠ホーム 施設長	出席
4	水嶋 正稔 委員	兵庫県立尼崎高等学校 校長	出席
5	波多野靖明 委員	社会福祉法人あひる福祉会 あひる保育園 副園長	出席
6	松本 陽介 委員	学校法人阪急学園 副理事長 いるか幼稚園 園長	欠席
7	齊藤 恵美 委員	保育科1年 保護者	欠席

■ 学校教職員

NO	名 前	所 属 等	出欠
1	本田 あけみ	校長 関西国際大学経営学部 教授	出席
2	黒川 丈朗	事務局長	出席
3	榎本 優人	学校関係者評価委員会担当	出席
4	藤田 千波	保育科学科長 就職委員長	出席
5	藤井 和子	教務委員長	出席
6	吉田 しのぶ	入試委員長・学生指導委員長	出席
7	清山 莉奈	情報教育担当	出席
8	平野 忠男	保育科教員	出席

4 概 要

(1) 校長挨拶

(2) 議長選出

- ・議長には第1回に引き続き、丸山和幸委員が選出された。

(3) 協議事項

- ・2024（令和6）年度自己評価報告書（案）について

(4) 報告

学校から資料に基づき説明を行った。

各報告について、委員より以下の通りの意見や質問があった。

報告「2024（令和6）年度関西保育福祉専門学校自己評価報告書」について

- 【意見】2024年度事業計画に「社会のニーズに対応した高等教育機関としての役割を果たしていく」とあるが、「社会のニーズ」のとらえが適切なのか、その問い直しの必要性があると感じる。

- 【意見】高等学校の4年制大学進路希望志向が高まる中、学生たちは専門学校に何を求めているのか、関西保育福祉専門学校だからこそ学ぶことができる良さを考えていく時に来ている。

- 【意見】新人職員も多様化している。社会人としてのルールや基本を丁寧に教える必要がある職員がいる一方で、十分にやる気をもって保育現場にきたが、理想と現実のギャップ（学校では保育ICTについて学びそのことを活かそうと思ったが、現場では使用していないなど）があることが現状。

- 【意見】学生や卒業生に対してポジティブなアンケートがあっても良いのではないかと。「なぜ、卒業まで在籍することができたのか」など、関西保育福祉専門学校の良さの気づきになるような前向きなアンケートや質問項目があってもよいのではないかと。

- 【意見】地域の防災拠点（特に乳幼児に特化した役割を果たす）としてアピールしていいかどうか。

- 【意見】阪神2軍球場ができるので、球団とタイアップし周知してみてもどうか。

- 【意見】ICT機器の活用について、現場に出る前に、授業を通して学ぶことができる機会があることは、これからの時代の保育現場にとっては非常に良い。

- 【質問】授業公開について。誰を対象に行っているのか。また、今年度、開催されなかった理由について。

【回答】新型コロナウイルス感染症以前は学生の家族、教職員を参加対象にして行っていた。今年度は長期履修生、夜間主の開設に伴い、教員のスケジュールが合わないことや全員揃うことが難しく行うことができなかった。なお、次年度は行うことになっている。

- 【質問】次年度からクラス担任制ではなくなる。今までのクラス担任のようなキーパーソンがいない状況で学生指導や学生の支援が成り立つのか。

【回答】アドバイザー制を導入し、学生の自由度が高くなるという良さがある。

○【質問】授業評価について「予習・復習・宿題」の項目は何を問うているのか。（量が適切な
のか、内容が適切なのか。）

【回答】授業以外で家庭等での時間を使い「予習・復習・宿題」を行ったかどうかを問う
設問である。